



- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥

まちづくりセンターが
発行している情報紙

- ①鉄西「てっせい〜まちづくりセンターだより」
・・・最新号(第6号)の記事は“サクシュコトニ川”ほか
- ②幌北「幌北まちづくりセンターニュース」
・・・創刊号(第1号)の記事は“幌北小学校の花植え”ほか
- ③新川「さくらんぼニュース」
・・・最新号(第4号)の記事は“新川さくら並木植樹会”ほか
- ④新琴似西「新琴似西まちづくりセンターレポート」
・・・最新号(第5号)の記事は“福祉講演会”ほか
- ⑤篠路「しろまちづくりセンター通信」
・・・創刊号(第1号)の記事は“篠路神社祭で夜間パトロール”ほか
- ⑥麻生「麻生まちづくりセンター通信」
・・・最新号(第2号)の記事は“補完性の原則ってなあに?”ほか

まちの 情報紙

区内では数カ所のまちづくりセンターで地域情報紙を発行・配布しています。各所長が、地域の行事などを自ら撮影した写真を織り交ぜながら編集しています。

上記6地区の最新号は、インターネットの北区ホームページ「みてきて北区」でもご覧いただけます。

アドレス<http://www.city.sapporo.jp/kitaku/town/machidayori/machidayori.html>

各まちづくりセンターの住所・電話番号は「きた4ページ」に掲載しています。

▶篠路地区コミュニティネットワーク会議の宮崎恒雄会長が「大変心強く、感謝します」と篠路郵便局での発足式であいさつしました



▼鉄西地区コミュニティネットワーク会議のワークショップでは、付せん紙に「まちのイメージ」を書いて意見交換を行いました



こと。「まちづくりの主役は地域の皆さんです。その活動を陰で支え、側面的支援を行うのがまちづくりセンターの役割です」と香田所長は話します。

私たちの周りには多くの情報が飛び交っています。キラリと光る情報を手に入れて、あなたのまちで輝かせてみませんか。

私たちは「まちづくり」の活動に積極的に参加したいという声掛けをたくさん集まっています。それをまちづくりに生かそうと声を掛けたところ、快く応じてくれたのです」と話します。構成団体を対象に実施した同ワークショップでは、活発な意見交換が行われ、参加者たちは「情報の共有」が必要であるとの認識で一致しました。

手から手へ

※コミュニティネットワーク会議とは地域に共通する課題について、地域の各種団体が意見交換や問題解決の方策を検討する会議です

一緒に

より幅広い強固なネットワークを築き、地域の将来像の道筋をつくるワークショップを開催したのは鉄西地区コミュニティネットワーク会議です。会を主宰する鉄西連合町内会の鎌野正一(かまのしょういち)会長が鉄西まちづくりセンターと連携して案内したところ、NPOや学生団体など新たに九団体が同会議に参加することになりました。同センターの伊藤直一(いとうなおいち)所長は「まちづくりセンターには地域で開催される行事や団体の情報がたくさん集まっています。それをまちづくりに生かそうと声を掛けたところ、快く応じてくれたのです」と話します。構成団体を対象に実施した同ワークショップでは、活発な意見交換が行われ、参加者たちは「情報の共有」が必要であるとの認識で一致しました。

※NPO=民間非営利団体